



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 太平洋興発株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8835 URL <https://www.taiheiyo.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 板垣 好紀
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高橋 光幸 TEL 03-5830-1602
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	22,945	68.9	760	161.2	717	332.5	519	403.0
2022年3月期第2四半期	13,587	13.8	291	92.0	165	177.9	103	△39.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 811百万円 (285.8%) 2022年3月期第2四半期 210百万円 (145.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	66.75	—
2022年3月期第2四半期	13.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	50,188	15,687	30.3	1,957.27
2022年3月期	44,646	15,140	32.9	1,887.11

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 15,226百万円 2022年3月期 14,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	33.00	33.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	43.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	64.4	1,000	58.3	1,000	155.9	600	63.5	77.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	7,783,448株	2022年3月期	7,783,448株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	4,168株	2022年3月期	4,167株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	7,779,281株	2022年3月期2Q	7,779,286株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策が進み、社会経済活動の正常化が進む一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化によるエネルギーや原材料価格の高騰、急激な円安進行に起因した物価上昇等による影響が懸念され、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況下、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、商事セグメントの輸入炭の販売単価が上昇したこと等により、売上高は229億45百万円（前年同期比68.9%増）となり、利益面につきましては輸入炭の販売数量が増加したこと等により、営業利益は7億60百万円（同161.2%増）、経常利益は7億17百万円（同332.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億19百万円（同403.0%増）となりました。

①不動産セグメント

マンションの買取販売の増加等により、売上高は14億59百万円（前年同期比3.9%増）となったものの、マンション改修工事の受注減等により、営業利益は4億27百万円（同8.2%減）となりました。

②商事セグメント

輸入炭の販売単価が上昇したこと等により、売上高は165億16百万円（同120.6%増）となり、輸入炭の販売数量が増加したこと等により、営業利益は5億8百万円（同577.4%増）となりました。

③サービスセグメント

有料老人ホームの稼働率低下等により、売上高は25億96百万円（同1.2%減）となったものの、給食事業及び旅客運送業（タクシー業）の利益が回復したこと等により、営業利益は1億89百万円（同21.4%増）となりました。

④建設工事セグメント

建設工事の受注が増加したことにより、売上高11億55百万円（同36.5%増）となったものの、10百万円の営業損失（前年同期は91百万円の営業損失）となりました。

⑤肥料セグメント

農業用肥料等の販売数量が減少したことにより、売上高は12億17百万円（前年同期比0.3%減）となったものの、製造コストの減少等により、営業利益は72百万円（同296.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は501億88百万円となり、前連結会計年度末に比べて55億42百万円増加となりました。この主な要因は、商品及び製品が31億89百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が12億64百万円、現金及び預金が7億60百万円増加したこと等によるものであります。

負債は345億円となり、前連結会計年度末に比べて49億94百万円増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が37億10百万円、社債が4億64百万円、短期借入金が2億30百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は156億87百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億47百万円増加となりました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が2億83百万円、利益剰余金が2億62百万円増加したこと等によるもので、この結果、自己資本比率は30.3%（前連結会計年度は32.9%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、61億42百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べて43百万円減少となりました。また、前連結会計年度末に比べて7億21百万円増加となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は7億87百万円（前年同期は9億56百万円の支出）となりました。これは、主に事業活動に伴う売上債権の回収によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2億65百万円（前年同期は4億36百万円の支出）となりました。これは、主に固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は1億91百万円（前年同期は15億75百万円の収入）となりました。これは、主に借入金の増加によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月11日に公表しました2023年3月期の通期連結業績予想を修正いたします。詳細につきましては、本日（2022年11月11日）公表しました「2023年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,723	6,484
受取手形、売掛金及び契約資産	4,268	5,533
未成工事支出金	12	138
商品及び製品	5,171	8,361
原材料及び貯蔵品	154	225
その他	1,134	1,232
貸倒引当金	△9	△8
流動資産合計	16,457	21,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,325	9,148
土地	13,967	13,972
その他(純額)	1,019	964
有形固定資産合計	24,312	24,084
無形固定資産		
その他	78	78
無形固定資産合計	78	78
投資その他の資産		
投資有価証券	917	1,320
長期貸付金	2	2
差入保証金	2,068	2,068
その他	817	676
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	3,798	4,058
固定資産合計	28,189	28,222
資産合計	44,646	50,188

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,268	6,979
短期借入金	9,003	9,234
未払法人税等	54	134
賞与引当金	224	235
その他	2,371	2,936
流動負債合計	14,922	19,519
固定負債		
社債	1,971	2,435
長期借入金	5,744	5,679
受入保証金	3,440	3,575
債務保証損失引当金	1,131	1,031
退職給付に係る負債	650	603
資産除去債務	110	110
その他	1,534	1,546
固定負債合計	14,583	14,981
負債合計	29,505	34,500
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,244	4,244
資本剰余金	3,380	3,379
利益剰余金	5,816	6,079
自己株式	△4	△4
株主資本合計	13,437	13,698
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	418	701
土地再評価差額金	832	832
退職給付に係る調整累計額	△7	△6
その他の包括利益累計額合計	1,243	1,527
非支配株主持分	460	461
純資産合計	15,140	15,687
負債純資産合計	44,646	50,188

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	13,587	22,945
売上原価	11,766	20,455
売上総利益	1,820	2,489
販売費及び一般管理費	1,529	1,729
営業利益	291	760
営業外収益		
受取配当金	15	50
事業分量配当金	18	30
その他	53	95
営業外収益合計	86	175
営業外費用		
支払利息	141	144
その他	70	74
営業外費用合計	211	218
経常利益	165	717
特別利益		
固定資産売却益	1	2
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	1	1
特別損失合計	1	2
税金等調整前四半期純利益	165	718
法人税等	51	189
四半期純利益	114	528
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	103	519

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	114	528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	96	281
退職給付に係る調整額	△0	1
その他の包括利益合計	96	282
四半期包括利益	210	811
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	200	802
非支配株主に係る四半期包括利益	10	9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	165	718
減価償却費	386	394
固定資産売却損益 (△は益)	△1	△2
固定資産除却損	1	1
受取配当金	△15	△50
受取利息	△0	△0
支払利息	141	144
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	628	△1,264
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△805	△3,385
仕入債務の増減額 (△は減少)	△546	3,710
前受金の増減額 (△は減少)	△305	802
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△100
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△113	134
その他	△324	△170
小計	△788	933
利息及び配当金の受取額	15	50
利息の支払額	△155	△155
法人税等の支払額	△137	△89
法人税等の還付額	110	49
営業活動によるキャッシュ・フロー	△956	787
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△374	△246
固定資産の売却による収入	0	5
投資有価証券の取得による支出	△0	△1
長期貸付金の回収による収入	0	11
投資有価証券の売却による収入	1	—
定期預金の増減額 (△は増加)	△33	△39
保険積立金の解約による収入	—	54
その他	△30	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△436	△265
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	856	965
社債の償還による支出	△851	△621
短期借入れによる収入	4,439	5,940
短期借入金の返済による支出	△3,198	△6,048
長期借入れによる収入	1,522	1,200
長期借入金の返済による支出	△898	△926
リース債務の返済による支出	△50	△53
配当金の支払額	△233	△256
その他	△9	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,575	191
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	7
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	185	721
現金及び現金同等物の期首残高	6,000	5,420
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,186	6,142

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産	商事	サービス	建設工事	肥料	計		
売上高								
顧客との契約から生じる 収益	581	7,485	2,621	846	1,220	12,755	—	12,755
その他の収益	823	1	6	—	—	831	—	831
外部顧客への売上高	1,404	7,486	2,628	846	1,220	13,587	—	13,587
セグメント間の内部 売上高又は振替高	46	158	63	31	0	300	△300	—
計	1,451	7,645	2,691	878	1,220	13,888	△300	13,587
セグメント利益又は損失 (△)	465	75	156	△91	18	623	△332	291

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△332百万円は、セグメント間取引消去88百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△420百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産	商事	サービス	建設工事	肥料	計		
売上高								
顧客との契約から生じる 収益	619	16,515	2,590	1,155	1,217	22,097	—	22,097
その他の収益	840	1	5	—	—	847	—	847
外部顧客への売上高	1,459	16,516	2,596	1,155	1,217	22,945	—	22,945
セグメント間の内部 売上高又は振替高	46	162	68	46	1	324	△324	—
計	1,506	16,678	2,664	1,202	1,218	23,270	△324	22,945
セグメント利益又は損失 (△)	427	508	189	△10	72	1,186	△426	760

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△426百万円は、セグメント間取引消去3百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△429百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。